

# 水の郷 ニュース

柳川総合保健福祉センター  
「水の郷」  
「水の郷くらぶ」  
柳川市上宮永町 6-3 ☎ 75-6200  
FAX75-6210

■開館時間 午前9時～午後9時（温泉は、午前10時～午後8時30分まで。図書館分室は午前10時～午後6時。すこやかルームは午前10時～午後9時）

■2月の休館日 4日、12日、18日、25日



2月の水の郷シネマ  
天地明察

◆日時 9日（土）、午前10時30分、午後1時30分、午後7時の3回

◆料金 前売り800円、当日1000円 ※当日券は販売中止もあり。回数券は6枚で5000円。1年間使えます。前売り券、回数券の払い戻し不可

## 今年も柳川温泉「南風」にイヨカン湯が登場 イヨカンの甘酸っぱい香りを堪能あれ

2月19日から28日まで、南風で「イヨカン湯」が楽しめます。

◆入浴料 一般（中学生以上）= 400円、65歳以上と障害者= 350円、4歳～小学生= 200円、3歳以下=無料

### 柳川温泉「南風」イベント

#### ◆雪の舞

2月11日（月・祝）、午後1時～、観覧無料（温泉入場料必要）

### 水の郷 ホール

## 2月の主な催し

◆「こどもひろば」（ポッポ幼稚園お遊戯会） 3日（日）、午前9時30分～、入場無料

【問】 同幼稚園（☎ 73・2239）

◆ダンスパーティー 3日（日）、午後1時30分～、参加料1000円

【問】 ウイング古賀の古賀さん（☎ 090・6774・7617）

◆老人クラブ柳川支部女性部リーダー研修会 15日（金）、午前10時～、入場無料

【問】 同部の今村さん（☎ 72・7353）

◆筑後ブロック主任児童委員学習会



### 視聴覚室イベント

#### ◆柳川観光大使エハン・デラヴィ氏 柳川水害チャリティートーク

11日（月・祝）、午後6時30分～、前売り1500円（当日300円増し）

【問】 松藤さん（☎ 32・9384）

#### 「メディアが子どもをむしばむ～家庭・地域でできること～」

16日（土）、午後1時30分～、入場無料

【問】 市福祉課（☎ 77・8512）

#### ◆柳川文化協会からたち友の会カラオケ発表会

17日（日）、午前10時～、観覧無料

【問】 同会の田中さん（☎ 73・7253）

#### ◆九条の会・柳川発足八周年 講演と映画のつどい

23日（土）、午後1時30分～、参加費500円、高校生200円、中学生以下無料

【問】 九条の会・柳川の坂本さん（☎ 74・1440）

## 子どもの豊かな感性を育もうとあめんぼ公演会を開催 人形劇とミニコンサートを楽しもう



お子様と一緒に楽しみください。

◆日時・会場 2月17日（日）、第1部=午後2時～、第2部=午後3時～、あめんぼセンター 2階 AV ホール

◆内容 ▷第1部=人形劇団どんぐり座による人形劇「おおかみとこぶた」など▷第2部=演奏グループ黄色い風船によるフルート独奏など、先着100人、入場無料

### おはなし会（小学生以下）

▶本館=毎週土曜（第4土曜は赤ちゃんおはなし会）、午後2時30分～▶三橋図書館=第2・4土曜、午後3時～▶雲龍図書館=第2土曜、午前10時30分～▶昭代分館=第1・3土曜、午前11時～▶蒲池分館=第2・4土曜、午前11時～

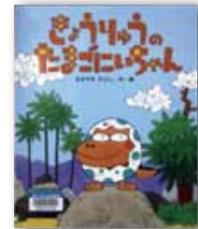
### 2月の無料映画会

2月9日（土）、午前11時～=名画劇場「うさぎドロップ」（114分）、午後3時～=子ども映画「ブルー初めての空へ」（96分）

## おすすめ新着図書

### きょうりゅうのたまごにいちゃん

あきやまただし 作・絵（鈴木出版）  
卵から出ずにみんなに甘えてばかりのたまごにいちゃん。ついに、窮屈になってきた卵から出ることですが…。大人気のたまごにいちゃんシリーズの13作目です。



### 大人気料理家50人のニッポンのおかず Best500

主婦の友社 編（主婦の友社）  
アンケートで選ばれた日本の人気料理家50人によるおかずレシピ本。思い出の味や郷土の味など500ものレシピを、料理家本人のエピソードとともに紹介します。



### 暮らしのアクアインテリア

澤村信 編（ネコ・パブリッシング）  
自然を暮らしの中に取り入れるアクアインテリア。小さなガラスボトルから大きな水槽を使ったものまでスタイル別に紹介。あなた好みのアクアインテリアをアレンジしませんか。



「柳川百選」は市企画課で配布。市のホームページでもダウンロード可。問い合わせは、同課（☎ 77・8423）へ。

### 蒲池窯作品展 「蒲池窯で創り出される茶道具」



蒲池窯の茶道具など約40点が展示されています。

■期間 ～3月31日（日）  
■入場料 大人400円、学生350円、子ども150円。団体割引あり  
■会場 北原白秋生家・記念館  
【問】 同館（☎ 72・6773）

最後に伊東さんは「現在、白秋生家・記念館で作品展を開催中です。ぜひ足を運んでください」と呼びかけました。問い合わせは、蒲池窯（☎ 73・0527）まで。



白色になります。黒は窯の中で不完全燃焼させ、黒煙を土器の中に入れて色を出します。部分的に黒色が入った「雲華」は、黒くしたい部分にだけ煙が行くように窯の中を工夫するそうです。黒色の中に雲のような白い模様が入っているのは、蒲池窯の模様で最も有名な「縹雲形焼」。伊東さんはこの模様を出すため、何十年も試行錯誤を繰り返したそうです。平成2年のある日、夢の中で見知らぬ老人が模様の出し方を教えてくれたといいます。「家長彦三郎が私にだけこっそり教えてくれたのでしよう」と伊東さんは笑顔で話します。蒲池窯の工房内は見学することができ、予約すれば焼き物体験もできます。

蒲池焼は、うわぐすりを  
使わずさまざまな色や  
模様を出す。赤焼（右）、  
雲華（右下）、黒陶



蒲池窯は、うわぐすりを使わず、焼き方や土に混ぜる材料を変えることで色や模様を出します。鉄分が多い土を焼くと赤色に、鉄分が少ないと



蒲池焼は、江戸時代に幕府への献上品として作られていた柳川藩の御用窯です。蒲池焼の歴史は、慶長9（1604）年に佐賀藩に仕えていた家長彦三郎方親が、筑後国の領主田中吉政に招かれ、西蒲池で土器を焼いたのが始まりです。以来、藩の御用窯として幕府へ茶道具などを献上。一般への販売は禁止されていました。しかし、明治の初めに本家が、明治末期に分家が廃業。昭和62年、蒲池焼の兄弟窯といわれる佐賀県の尾崎焼の技法を学んだ土器師、伊東征隆さんが西蒲池に蒲池窯を開きました。



蒲池窯の模様で最も有名な「縹雲形焼」

## 蒲池焼

市民の皆さんが大切にしたいもの、誇れるものを応募のなかから「柳川百選」として選びました。このコーナーでは、シリーズで紹介していきます。郷土の素晴らしさを再発見しませんか。

## 柳川百選まち歩き

第46回